



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7885 URL <https://www.takano-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,349	3.0	124	△38.2	195	△24.3	114	△31.7
2022年3月期第3四半期	14,902	20.2	201	ー	258	ー	167	ー

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 332百万円 (59.6%) 2022年3月期第3四半期 208百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	7.52	ー
2022年3月期第3四半期	11.02	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	38,289	29,990	78.3	1,970.26
2022年3月期	37,616	29,901	79.5	1,964.39

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 29,990百万円 2022年3月期 29,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	0.00	ー	16.00	16.00
2023年3月期	ー	0.00	ー		
2023年3月期（予想）				18.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 創業80周年記念配当 2円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	3.3	1,100	△3.8	1,150	△7.1	850	△5.0	55.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	15,721,000株	2022年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	499,420株	2022年3月期	499,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	15,221,580株	2022年3月期3Q	15,196,164株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日)におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻によるエネルギー価格の上昇や、中国における新型コロナウイルスの感染拡大、内外の金利差拡大による円安の進行を大きく受けたものとなりました。今後についても、国内でのウイズコロナの定着化が進む一方で、原材料やエネルギー価格など、先行き不透明な状況が続くと思われまます。

このような状況において当社では、半導体関係の需要増に応えるべく、生産体制の整備・事業構造のシフトに努めるとともに、部材不足への対応や原材料価格・仕入れ価格の上昇の当社製品価格への転嫁などの対応を進めてまいりました。

この結果、主に検査計測機器事業および産業機器事業の販売の増加により、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,349百万円で、前年同四半期比447百万円、3.0%の増収となりました。

一方、利益面につきましては、販売増加にともない粗利益額は増加したものの、原材料価格の上昇による利益率の悪化および新型コロナウイルスの行動制限緩和にともなう営業活動費用の増加等により、営業利益124百万円(前年同四半期比76百万円、38.2%の減益)、経常利益195百万円(前年同四半期比62百万円、24.3%の減益)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は114百万円(前年同四半期比53百万円、31.7%の減益)となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント利益または損失(△)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	7,702	7,261	△5.7%	54	△294	－%
検査計測機器	3,610	4,083	13.1%	△290	36	－%
産業機器	2,027	2,224	9.7%	412	346	△16.1%
エクステリア	641	671	4.7%	△25	△19	－%
機械・工具	921	1,109	20.4%	60	66	9.2%
報告セグメント計	14,902	15,349	3.0%	211	134	△36.6%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△10	△9	－%
合計	14,902	15,349	3.0%	201	124	△38.2%

(住生活関連機器)

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、働き方の変化に対応した新たなオフィスの価値を創造するオフィス家具の開発・生産、特にWEB会議の機会拡大で需要が拡大している個室空間製品に注力してまいりました。

しかしながら、今年度はオフィスビルの新規供給が少ないこと等により、売上高は7,261百万円で前年同四半期比441百万円、5.7%の減収となりました。利益面では固定費の圧縮には努めたものの、減収にともなう粗利益額の減少や円安による仕入れ部材価格の上昇による利益率の悪化により、セグメント損失は294百万円(前年同四半期はセグメント利益54百万円)となりました。

(検査計測機器)

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶や半導体・高機能フィルム用の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き設備投資需要が拡大している半導体関連検査装置や電池部材向け検査装置の開発、販売に注力してまいりました。

この結果、売上高は4,083百万円で前年同四半期比472百万円、13.1%の増収となりました。利益面においては、販売増加にともなう粗利益額の増加などにより、セグメント利益は36百万円(前年同四半期はセグメント損失290百万円)となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司およびTakano of America Inc. で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体製造装置業界の好調を受け、電磁アクチュエータの増産体制の整備ならびに販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は2,224百万円で前年同四半期比197百万円、9.7%の増収となりました。一方、利益面では原材料価格の上昇にともなう粗利率の低下と、更なる生産体制の拡大に向けた設備投資や人員増加などの固定費の増加により、セグメント利益は346百万円（前年同四半期比66百万円、16.1%の減益）となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、ホテル・レストラン業の事業回復を睨み、WEBを活用したプロモーション等の販売促進活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は671百万円で前年同四半期比29百万円、4.7%の増収となりました。利益面ではセグメント損失19百万円（前年同四半期はセグメント損失25百万円）となりました。

（機械・工具）

当セグメントは、連結子会社株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに注力してまいりました。この結果、売上高は1,109百万円で前年同四半期比188百万円、20.4%の増収となりました。利益面ではセグメント利益66百万円で、前年同四半期比5百万円、9.2%の増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して724百万円増加の24,071百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだことにより、受取手形、売掛金及び契約資産が2,483百万円減少した一方、現金及び預金が488百万円、受注増加にともない商品及び製品が411百万円、仕掛品が1,786百万円、原材料及び貯蔵品が459百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して50百万円減少の14,217百万円となりました。これは主に、投資有価証券が保有する有価証券の時価評価額の上昇等により101百万円増加した一方、減価償却費の計上等により有形固定資産合計が135百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は38,289百万円となり、前連結会計年度末と比較して673百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して468百万円増加の7,335百万円となりました。これは主に、未払法人税等が310百万円、賞与引当金が358百万円減少した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が102百万円、検査計測装置の大口物件の納入により契約負債が1,057百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は8,299百万円となり、前連結会計年度末と比較して583百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して89百万円増加の29,990百万円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社による配当金の支払い等により129百万円減少した一方、円安の進行による為替換算調整勘定が133百万円、保有する有価証券の時価評価額の上昇により、その他有価証券評価差額金が86百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.5%から78.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績につきましては、現時点で2022年5月10日に公表しました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,798,325	8,286,475
受取手形、売掛金及び契約資産	10,210,758	7,727,060
有価証券	300,000	—
商品及び製品	616,380	1,028,059
仕掛品	2,892,214	4,679,100
原材料及び貯蔵品	1,357,887	1,817,359
その他	172,087	533,776
流動資産合計	23,347,654	24,071,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,519,379	3,355,086
機械装置及び運搬具（純額）	970,410	847,299
土地	4,236,283	4,236,283
その他（純額）	708,724	860,784
有形固定資産合計	9,434,798	9,299,453
無形固定資産	183,395	187,529
投資その他の資産		
投資有価証券	3,142,536	3,244,240
その他	1,514,299	1,492,973
貸倒引当金	△6,218	△6,218
投資その他の資産合計	4,650,617	4,730,995
固定資産合計	14,268,811	14,217,978
資産合計	37,616,465	38,289,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,881,529	1,581,323
電子記録債務	2,541,952	2,944,923
未払法人税等	335,523	25,145
契約負債	305,860	1,363,546
賞与引当金	608,191	250,049
製品保証引当金	34,329	31,838
その他	1,159,199	1,138,289
流動負債合計	6,866,587	7,335,116
固定負債		
長期借入金	80,000	180,000
退職給付に係る負債	508,580	535,610
その他	260,133	248,538
固定負債合計	848,714	964,149
負債合計	7,715,301	8,299,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,360,246	2,360,246
利益剰余金	25,339,798	25,210,661
自己株式	△259,302	△259,302
株主資本合計	29,456,641	29,327,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321,908	408,189
為替換算調整勘定	121,795	254,831
退職給付に係る調整累計額	818	18
その他の包括利益累計額合計	444,522	663,039
純資産合計	29,901,164	29,990,544
負債純資産合計	37,616,465	38,289,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,902,790	15,349,920
売上原価	11,495,663	11,849,765
売上総利益	3,407,126	3,500,154
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	966,084	1,056,629
賞与引当金繰入額	74,713	91,202
退職給付費用	36,286	43,597
研究開発費	635,974	534,342
その他	1,493,018	1,650,047
販売費及び一般管理費合計	3,206,077	3,375,820
営業利益	201,048	124,334
営業外収益		
受取利息	14,952	14,187
受取配当金	29,307	38,850
その他	46,527	47,236
営業外収益合計	90,788	100,274
営業外費用		
支払利息	1,641	1,704
固定資産除却損	2,972	865
コミットメントフィー	5,085	5,085
為替差損	15,307	14,179
その他	8,216	6,894
営業外費用合計	33,224	28,730
経常利益	258,612	195,878
特別利益		
固定資産売却益	7,080	—
特別利益合計	7,080	—
税金等調整前四半期純利益	265,693	195,878
法人税、住民税及び事業税	47,063	64,501
法人税等調整額	51,216	16,968
法人税等合計	98,279	81,470
四半期純利益	167,413	114,408
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,413	114,408

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	167,413	114,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,408	86,280
為替換算調整勘定	62,441	133,035
退職給付に係る調整額	△12,874	△799
その他の包括利益合計	41,158	218,516
四半期包括利益	208,571	332,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,571	332,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,588,452	3,610,424	2,027,271	641,270	921,407	14,788,826
その他の収益	113,964	—	—	—	—	113,964
外部顧客への売上高	7,702,416	3,610,424	2,027,271	641,270	921,407	14,902,790
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,768	323	33,574	5,250	497,909	605,826
計	7,771,185	3,610,747	2,060,845	646,520	1,419,317	15,508,616
セグメント利益又は損失(△)	54,416	△290,963	412,816	△25,259	60,768	211,779

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	211,779
セグメント間取引消去	△10,730
四半期連結損益計算書の営業利益	201,048

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,142,868	4,083,344	2,224,430	671,205	1,109,617	15,231,467
その他の収益	118,453	—	—	—	—	118,453
外部顧客への売上高	7,261,321	4,083,344	2,224,430	671,205	1,109,617	15,349,920
セグメント間の内部売上高又は振替高	77,427	1,491	51,127	7,369	488,239	625,657
計	7,338,749	4,084,836	2,275,558	678,575	1,597,857	15,975,577
セグメント利益又は損失(△)	△294,996	36,258	346,185	△19,554	66,366	134,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	134,259
セグメント間取引消去	△9,925
四半期連結損益計算書の営業利益	124,334

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。